

大部諸般若經品別對照表

渡邊 模雄

一、緒言

佛教學術近く頓に興隆し、學人の眼は殆ど昔日の比ではない。然れば今更らしくお斷りをのべる要もないかも知れないが、また一面、敢て婆心を添へても丸で無駄といふ譯ではなからう。

今いふ通り、佛教學術は輓近頓に興隆した。恐らく明治時代の十年の成績は、もつて今日の一年のそれに比すべきかも知らない。さりながら、翻て考れば、佛教諸典中たゞ一典でも、内外圓滿、まづこれだけ研究されておればといふほどのものゝないこともまた忘れてはならぬ。いな印度といふ非歴史國に關することでもあるからであるが、教祖釋尊の出世年代、尙、論を含み、爾後列代の祖師等、何れもその年代さへ確定せられてゐぬ事實を如何せんやである。かくして最も好適な比較對象たる希臘諸哲學史等を反省するとき、例へば Zeller などが、昔時混沌たりし希臘古代の幾多の典藉を諸先匠のお蔭で、能く自由に驅使して哲學史を編むであるが、印度佛教乃至佛教一般その他についても、同様の日の来るは果して何時ぞやの感、轉、切ならざるを得ない。

然らば現實の我ら果して何をなすべきか。素より、方面の如何により施設また幾多あるべくも、思ふに佛教思想が睨的なるかぎり、何はとにおき、諸の佛典の最も嚴密な典籍的研究 Text-critical study の應に學人の最大且つ最急の關心事たるべきこと論は無い。審說せば、こゝに一人の學人あつて一佛典の研究に手を染るならば、彼は同佛典の内外あらゆる事項に關して出来るかぎりの探究をとげ、且つこれを、萬難を排除してもつて世の同好の士の前に公示すべきものである。而してかうした功をつみ時をかさねたならば、はじめて眞學術的佛教史の編纂と且つそれに伴ふ眞佛教光明の發揚とも期待し得べきものであらう。

で、以上のこととは勿論學人具眼の士多き前に於て改めて披瀝するを要すべきものでは無く、所詮はたゞ婆心までの囁語である。而も敢て辯じておきたいのは、以下の繁瑣至極なる列表もまた完く如上同段の作者の意圖に發した一試みだといふことである。而して同じ企てに關しては、私に思ふに、從前の學匠にしてこれを敢てせられた者は恐らく——少くとも——五・六氏を下らなかつたであらう。例へば、かく筆をとりつゝ筆者が恐らく皆然うしたであらうとして想起し得る諸先達だけでも、「大般若經概說」(新佛教第九卷の八)の作者故渡邊海旭氏、「般若經の諸問題」(宗教研究新第二卷の四)の作者千湯龍祥君、國譯大藏經大品般若譯及び「佛教經典概說」の作者椎尾辨臣氏、「般若經の原形に就て」(哲學雜誌昭和七年十・十一兩月號)の作者鈴木宗忠氏の多きがある。たゞ諸氏は從前の幾多の不便にわざはいされ、何れも發表せられなかつた。それが爲に今日の我らはかさねて完く功を新にして同じ縦跡を克明に反覆するの餘儀なさであつた。これ誠に徒らなる努力とすべきであつて、先匝にそれを發表するの便宜と機會とを與へてゐたならば、爾來の學徒はその

愚をくりかへすの要は蓋しなかつたのである。而もこれは向後とも同じである。よつて上のやうな平生の素懐の一分をも展ぶべく、こゝにこの筆を執れるものであつて、幸にこれから後の諸士がこれによつて佛教研究上の勞を幾分でも割かるゝを得、それだけ佛教開發に資助し得る所以があるならば、筆者もとより本懐の至にして、敢て廣大の佛恩に報ずるのよすがともしたいものである。同學の士冀くばこれを諒とし、過誤その他の高教に吝かならざらんことを(部分的に)は——故渡邊氏のは、壱月全集P.513—4;椎尾氏のは國譯大品般若經解題P.14—22各参照)。

備考——凡例

- 一、大部諸般若の意義——在來學匝の例に習う所であつて、現存三十幾ほどの全般若諸經中、玄辨譯大般若經十六會六百卷中の初五會及び相應の諸般若が量、最も大にして且つ最も本源的なものであり、而もそれら相互は簡複の差あるに過ぎぬとの見により(以上上出の鈴木・千鶴諸氏の論文参照)、同五會及び相應諸般若を總括してこの稱を爲す。
- 二、以下列表の記述標準——これは幾多あり得べきも、今は便宜上玄辨譯を標準にして表示する。
- 三、略符——記述の便をはかり出来るだけ略符を用ひ、爲に梵のParivarts(呪)No.なども唯その數字だけを出す。
- 四、かくて以下品別對照を列るも、上言の通り、これは完くの般若經に關する形式的研究上の一面觀として敢てこれをなせるものにすぎぬ。蓋し近時の學匝中には、この品別に至大の重きをおいて考へむとするの士もあるけれども(鈴木宗忠氏「般若經の原形について」——前出、梶芳光運氏「般若經に現はれたるその原始姿態について」——宗教研究新十の五)、下の諸表をもつても知り得る如く、この種の品別は必ずしも左まで本質的且つ重大視し得べき

ものではないらしい。而して道安作大品般若序に従へば、該大品般若現在の九十品の施設の如きも、完く譯者羅什法師の、義に隨意に隨て且らく制めたもので、本來「佛の制せる」所ではなかつたとも言はるゝ所である（出三藏記集八——大正55.P.53b）。旁もつてこの點は理解せられたいことを繞望する。

五、この稿をなすにつけては、大谷大學版「西藏大藏經勘同目錄」に負ふものが甚だ大であつた。こゝに記して深くその恩を謝したい。

一一、初會及び相應諸般若經品別對照表

一、名稱——(一)量の上より或は十萬頌 *Satasāhasrikā* もしくは(二)玄奘譯六百卷にては、その十六分中の初位におかる、故に初會又は初分般若とも稱せられる。

二、現傳諸本——

(一)大般若波羅蜜多經中——同六百卷十六會中の卷第一——卷第四百に及ぶ初會四百卷七十品をさす。唐の玄奘が顯慶五年(660A.D.)正月一日より龍朔三年(663A.D.)十月二十日までかゝり、玉華殿中で三種の梵本を校合し、最も謹重して、大乘光、大乘欽、嘉尚等筆受の下に譯せるものゝ中。大正vol.V—VI. 2147 pages.

(二)梵本——*Saṅgasāhasrikā prajñāpāramitā* 別名をRakṣā-bhagavatī もよび、梵文八千頌般若の刊行者 R. Mitra 氏の同序中の言をもつてせば、氏が所見の本(十萬頌般若)は具さには十一萬三千六百七十七首盧 *Sroka* あつたと。

(開元錄には十二萬一千頃と記す)。印度 Skandha 七十一葉 Parivarta より成る。その初め一部分は

Pratāpacandra Ghosha の手にて 1902-1914 年 Calcutta にて刊行。

(三) 藩本—— Śes-rah-kyi Pha-rol-tu-phyin-pa Sto:i-phrag-brgya-pa. の北京版は甘殊爾部圖 26 (319+3 葉)
27 (303+3); 28 (339+1); 29 (326); 30 (339); 31 (330); 32 (326); 33 (367); 34 (351+1); 35 (375); 36
(323+3); 37 (310); 38 (356+1); 39 (320) 合計十卷 4686+12 leaves.

III. 品別對照——

(玄奘漢譯)

(梵文)

(蕃本)

一、緣起品

1. Glen-gshi (緣起品)

二、學觀品

三、相應品

四、轉生品

—Parivarta I

(品名缺)

—2. Śūrihi-bu (金剛子品)

五、讚勝德品

—

六、現舌相品

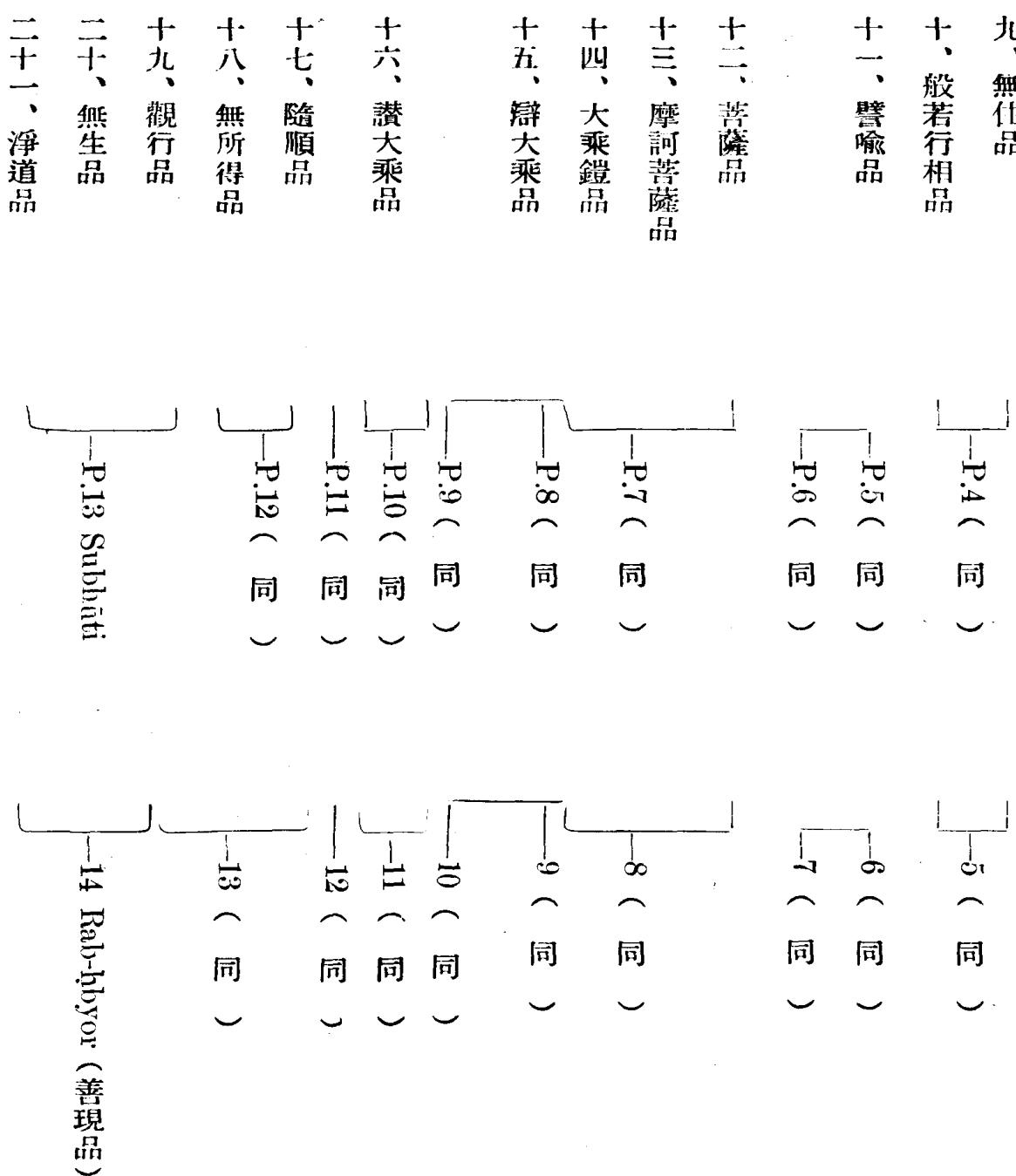
3. (品名缺)

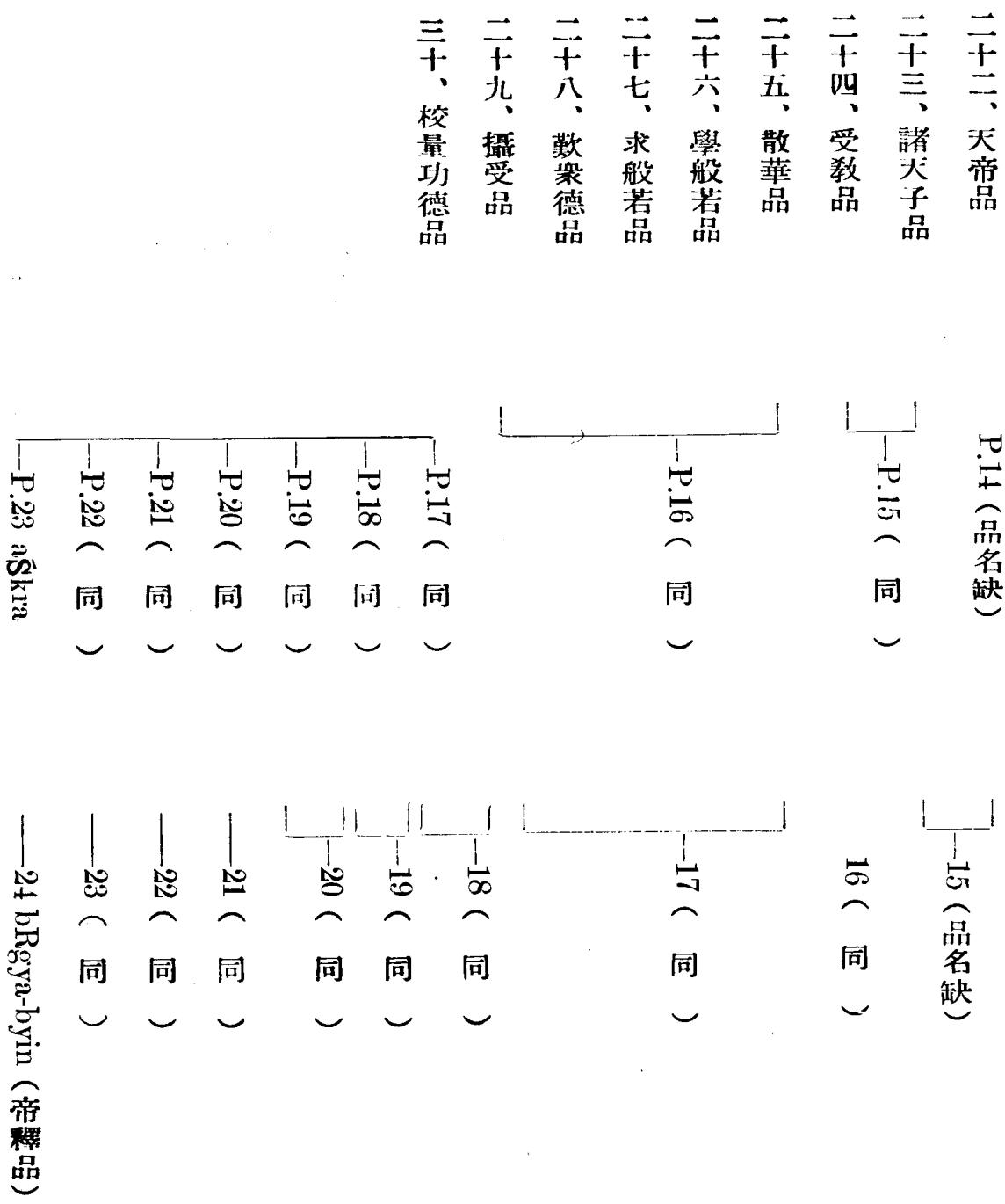
P.2 (回)

4. (回)

P.3 (回)

八、勸學品





大部諸般若經品別對照表

一四

三十一、隨喜廻向品 —— P.24 Parināma —— 25, Yois-su-bSño-ba, (廻向品)

三十二、讚歎品 —— 25 (誉贊) —— 26 (賽贊)

三十三、謗般若品 —— P.26 (謗)

三十四、難信解品 —— 27 (難信)

三十五、讚清淨品 —— P.27 (同) —— 28 (同)

三十六、著不著相品 —— P.28 (同) —— 29 (同)

三十七、說般若相品 —— P.29 (同) —— 30 (同)

三十八、波羅蜜多品 —— P.30 (同) —— 31 (同)

三十九、難聞功德品 —— P.31 (同) —— 32 (同)

四十、魔事品 —— P.32 (同) —— 33 (同)

四十一、佛母品 —— P.33 (同) —— 34 (同)

四十二、不思議等品 —— P.34 (同) —— 35 (同)

四十三、辨事品 —— P.35 (同) —— 39 (同)

四十四、衆喻品 —— 39 (同)

四十五、真善友品 —— 39 (同)

四十六、趣智品	—P.36 (同)	—37 (同)
四十七、真如品	—P.37 (同)	—38 (同)
四十八、菩薩住品	—P.38 (同)	—39 (同)
四十九、不退轉品	—P.39 (同)	—40 (同)
五十、巧方便品	—P.40 (同)	—41 Phyir-ni-idog-pahi Rnampa-lam Tshil (不退轉品)
五十一、願行品	—P.41 (同)	—42 (品名缺)
五十二、殞伽天品	—P.42 (同)	—43 (同)
	—43.Gaṅgālevibhagini.	—44 Gaṅgāhī Lha-mo. (殞伽天女品)
五十三、善學品	—P.44 (品名缺)	—45 (品名缺)
五十四、斷分別品	—?	—46 (同)
五十五、巧便學品	—P.46 (同)	—47 (同)
五十六、願喻品	—P.47 (同)	—48 (同)
五十七、堅等讚品	—P.48 (同)	—49 (同)
五十八、囉累品	—P.49 (同)	—50 (同)
五十九、無盡品	—P.50 (同)	—51 (同)
六十、相引攝品	—P.51 (同)	—52 (同)

六十一、多聞不二品	—P.53 (同)	—53 (同)
六十二、實說品	—P.54 (同)	—54 (同)
六十三、巧便行品	—P.55—58 (同)	—55—58 (同)
六十四、遍學道品	—P.59 (同)	—59 (同)
六十五、三漸次品	—P.60 (同)	—60 (同)
六十六、無相無得品	—P.61 (同)	—61 (同)
六十七、無雜法義品	—P.62 (同)	—62 (同)
六十八、諸功德相品	—P.63 Lakṣṇānuvyayañjanākṣarābhinirhāraparāmitā —P.64 Sarvadharmasamatāni	—63.m Tshan-dāñ dPe-byal-bzan-po Nyon-pa pa (現成波羅蜜多說) —64.m Nān-pañid-du bStan-pa (說)
六十九、諸法平等品	deśa.	
七十、不可動品	—P.65 (空名缺)	—65 (空名缺)
七十一、成熟有情品	—P.66 (同)	—66 (同)
七十二、嚴淨佛土品	—P.67 (同)	—67 (同)
七十三、淨土方便品	—P.68 (同)	—68 (同)
七十四、無性自性品	—P.69—70 (同)	—69—70 (同)
七十五、勝義瑜伽品	—P.71 (同)	—71 (同)

七十六、無動法性品

—72 (同)

—72 Chos-nid Mi-hgyur-ba bStan-pa

七十七、常啼菩薩品

(法性不變)

備考——以上、梵本の品名を記するものは全七十二品中、十三、二十三、二十四、四十三、六十三、六十四の六品、蕃本の同上は全七十二品中、一、三、十四、二十四、二十五、四十一、四十四、六十三、六十四、七十二の一〇品。

III、第一會及び相應諸般若の品別對照表

一、稱呼——(一) 後掲小品般若に對する關係より古來大品般若と通稱せられ、また(1) もの量の點より二萬五千頌般若Pañcavimśatisūkṣmikā prajñāpāramitā (Śos-rad-kyi Pha-vol-tu phyin-pa Ston-phrag-mi-shu-lha-Ta) もよばれ、乃至、(二) 玄辨譯に於ては準上の位置の關係上、第二會又は第二分など稱せられる。

二、現存諸傳本——

(一) 大般若波羅蜜多經中——六百卷十六會中の第二會||卷第四〇——同第四七八の七十八卷八五品に當る。大正vol. 7, P.1—426a. 翡餘のことは初會の下參照。

(二) 摩訶般若波羅蜜經二十七卷(又は三十卷)九十品——普通大品般若といへば専らこの本をさす。胡本の從來を審にせぬが、とに角、秦の弘始五年(403A.D.) 四月二十三日、京城(長安のこと)の北、逍遙園中でその胡本を得

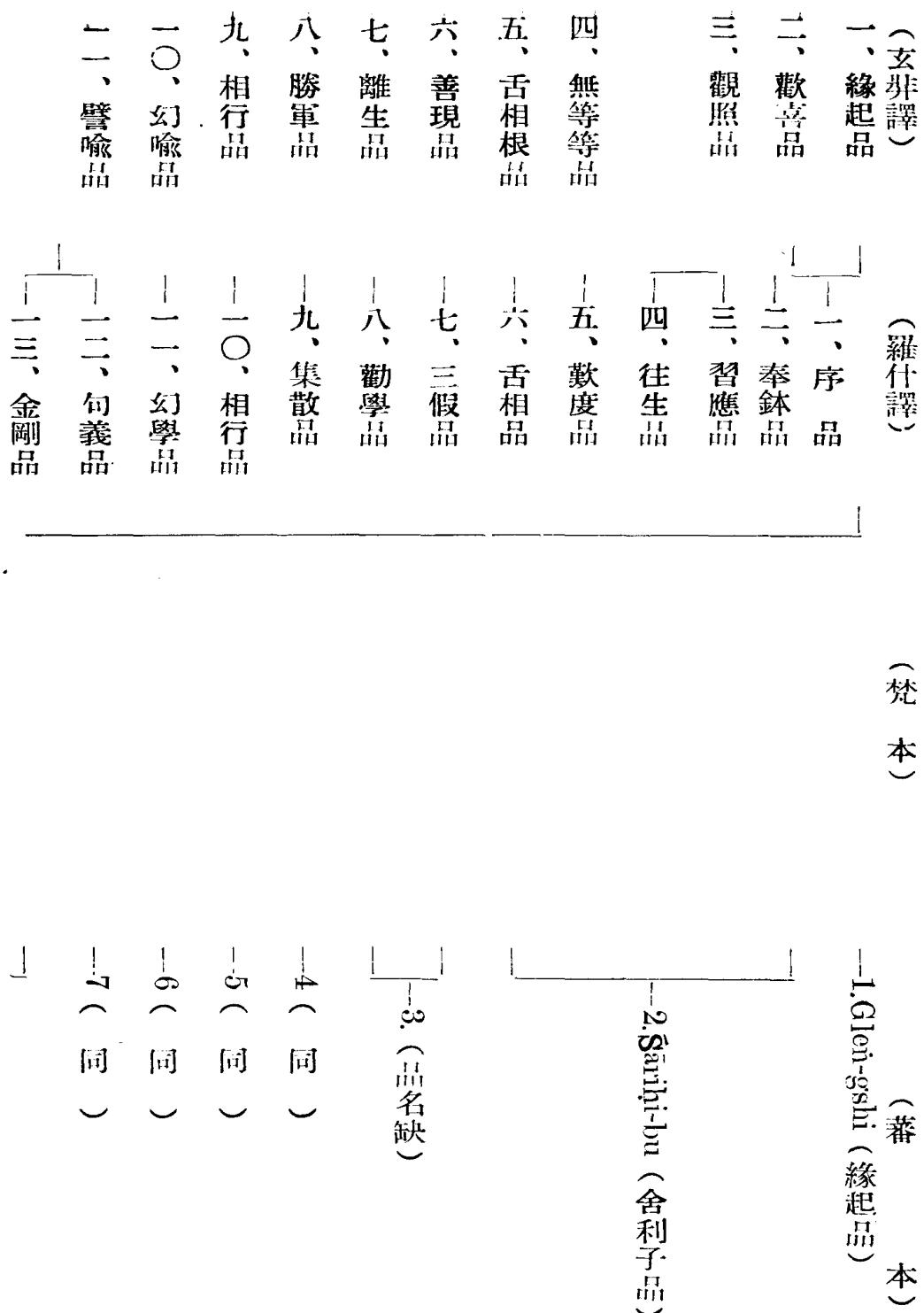
恰も長安に來つて(弘始三年=401A.D.入支)三年目^ノの羅什に提示し、法師輒ち釋慧恭、僧碧、僧遷、寶度、慧精法欽、道流、僧叡、道恢、道櫛、道恒、道悰等五百人を集め、共に義を審にし、然る後書して同年十二月十五日一度譯了し、更に改めて校正檢括して明年四月二十三日初めて成る所。これには道安の序があつて、それに從へば——已記の如く——現九十品の品別はもと「佛の制せられた」ものでは無く、胡本には僅に序品、阿鞞跋致品、魔品等三品の施設しかなかつたものを、法師が義に從て整へたものであつたと(口註参照)。大正Vol.8,P.217—424v、
(三)梵本——Pañcavimśatisūhasrikā-prajñāpāramitā——爾波爾 Nepal 貝葉本として現に承傳せらる。前田Mitra 氏の所言に隨へば(八千頌般若梵本序 XIV—XV)、氏が見たものは二萬四五十五頌八品あつたと。或は完本ではなかつたかもわからぬ。

(四)蕃本——Ses-rab-kyi Pha-rol-tu-Phyin-pa Stoñ-phrag-mi-su-hia-pa. ——北京版甘殊爾部本をもつてせば、函
○No.40 (300 leaves); 41(311); 42(312); 43(282) の計四函1205 leaves. 七十六品より成る。

附記——この第一會相應本としては、尙、下出の光讚、放光二般若をも同列に數るのが常である。のみならず最近は品別關係より論證的にまたこれを主張した先學もあつた(鈴木宗忠氏「般若經の原形に就て」中参照)。けれども般若諸經品別のこととは已見の如くなる反面、已に十萬頌といひ、二萬五千頌等といひ、量の多くものをいふ般若經のことゝて、その量の恰も下出一萬八千頌般若に近いものゝある點に鑑み、今は則ち同二經を該一萬八千頌般若相應中に列ることゝした(干渴龍祥君「般若經の諸問題」——宗教研究新II,P.544; 大谷大學製「

西藏大藏經甘殊爾勘同目錄」P.197 footnote 等參照)。

三、品別對照



大部諸般若經品別對照表

11

一三、斷諸見品 一一四、樂說品

一三、到彼岸品 一一五、辯才品

一四、乘大乘品 一一六、乘乘品

一五、無縛解品 一一七、莊嚴品

一六、三摩地品 一一八、問乘品

一七、念住等品 一一九、廣乘品

一八、治修品 一一〇、發趣品

一九、出住品 一一一、出到品

一一〇、超勝品 一一二、勝出品

一一一、無所有品 一一三、等空品

一一二、隨順品 一一四、會宗品

一一三、無邊際品 一一五、十無品

一一四、遠離品 一一六、無生品

一一五、帝釋品 一一七、間住品

一一六、信受品 一一八、幻聽品

—1.Subhūti (善現品)

—8 (同)

—9 (同)

—10 (同)

—11 (同)

—12 (同)

—13.Rab-hbyor (善現品)

—15 (三名缺)

二七、散華品	一一九、散華品
二八、授記品	一二〇、三歎品
二九、攝受品	一三一、滅諍品
三〇、窣堵波品	一三二、大明品
三一、福生品	一三三、述成品
三二、功德品	一三四、勸持品
三三、外道品	一三五、遺異品
三四、天來品	一三六、尊導品
三五、設利羅品	一三七、法稱品
三六、經文品	一三八、法施品
三七、隨喜廻向品	一三九、隨喜品
三八、大師品	一四〇、照明品
三九、地獄品	一四一、信毀品
四〇、清淨品	一四二、歎淨品
四一、無標幟品	一四三、無作品

-2.Antadvayaviśudhi

—16(同)

—17(同)

—18(同)

—19(同)

—20(同)

—21(同)

—22(同)

—23(同)

—24(同)

—25(同)

—26.Sems-can-dnyal-ba(地獄品)

—27.Chos-thams-cad Rnam-par-dags-pa
()母法清淨品)

大部諸般若經品別對照表

一一一

四二、不可得品	—四四、徧歎品	—3.Sarvakārajñatādhikāra- caryāviśeṣa.	—28 (品名缺)
四三、東北方品	—四五、聞持品	—	—29 (同)
四四、魔事品	—四六、魔事品	—	—30 (同)
四五、不和合品	—四七、兩過品	—	—31 (同)
四六、佛母品	—四八、佛母品	—	—
四七、示相品	—四九、問相品	—	—32 (同)
四八、成辨品	—五〇、成辨品	—	—33 (同)
四九、船等喻品	—五一、譬喻品	—	—34 (同)
五〇、初業品	—五二、知識品	—	—35 (同)
五一、調伏貧等品	—五三、趣智品	—	—36 (同)
五二、真如品	—五四、大如品	—	—37 (同)
五三、不退轉品	—五五、不退品	—	—38 (同)
五四、轉不轉品	—五六、堅固品	—	—39 (同)
五五、甚深義品	—五七、深奧品	—	—40.Phyir-mi-dlog-pa (不退品)
		—	—41 (品名缺)

五六、夢行品	五八、夢行品
五七、願行品	五九、河天品
五八、毘伽天品	六〇、增上慢品
五九、習近品	六一、同學品
六〇、增上慢品	六二、無分別品
六一、同學品	六三、同性品
六二、夢誓品	六四、堅非堅品
六三、夢愁品	六五、度空品
六四、淨願品	六六、實語品
六五、累教品	六六、無盡品
六六、度空品	六七、無盡品
六七、相攝品	六八、攝五品
六八、巧便品	六九、方便品
六九、樹喻品	七〇、三慧品
六九、道樹品	

—42 (同)

—43. Gaṅgāhi Lha-mo (毘伽天女品)

—44 (三名缺)

—45 (同)

—46 (同)

—47 (同)

—48 (同)

—49 (同)

—50 (同)

—51 (同)

—52 (同)

—53 (同)

大部諸般若經品別對照表

112

七〇、菩薩行品	一七二、道行品	--54 (同)
七一、親近品	一七三、三善品	--55 (同)
七二、遍學品	一七四、徧學品	--56 (同)
七三、漸次品	一七五、三次品	--57 (同)
七四、無相品	一七六、一念品	--58 (同)
七五、無雜品	一七七、六喻品	--59 (同)
七六、衆德相品	一七八、四攝品	--60 (同)
七七、善達品	一七九、善達品	--61 (同)
七八、實際品	一八〇、實際品	--62.uTsham-dai dDe-byad-hzau-po niñou -par-sgrub-pa-dai Pha-rol-tu-phvin-pa bStan-pa(釋經現成波羅蜜多說示等)
七九、無闕品	一八一、具足品	--63.miñam-pa-ñid-du bStan-pa (窮平等性三)
八〇、道士品	一八二、淨土品	--64 (同)
八一、正定品	一八三、畢定品	--65 (同)
八二、佛法品	一八四、差別品	--66 (同)
八三、無事品	一八五、七譬品	--67 (同)
八四、實說品	一八六、平等品	--68 (同)

--6.Anupravālīsamayāñdhik-
āro anukrama śikṣā.

--60 (同)

--61 (同)

--62.uTsham-dai dDe-byad-hzau-po niñou
-par-sgrub-pa-dai Pha-rol-tu-phvin-pa
bStan-pa(釋經現成波羅蜜多說示等)

--63.miñam-pa-ñid-du bStan-pa

(窮平等性三)

--64 (同)

--65 (同)

--66 (同)

--67 (同)

--68 (同)

--69 (同)

五八、空性品 一八七、如化品

—70 (回) —71 Chos-sñl Mi-hgyvñr-ha bShan-pa

—72 Byañ-chub-sens-dpahi bSlab-pa-a
Rab-tu-phye-ha (說法性不變品)
—73. Byañ-chub-sens-dpahi Rtag-par-ra-
b-tu-nu-bas. Tin-ñe-hdsin-gyi Sgo-ma-
ñ-po Thob-pa (莊著釋得多川味門品)

—74. Rtag-par-rab-tu-nu-ba (常啼品)
—75. Chos-kyis-liphags-pa (法尚品)

—76. Yon-su-gtañ-pa (囁累品)

四、第三會及び相應諸般若の品別對照表

一、稱呼——(一)玄奘譯に於ては、準上の位置の關係上、第三會乃至第二分般若と稱し、(二)量に望めては一萬八千頌般若と名ける。

二、現存傳本——

(一)大般若波羅蜜多經中——六百卷十六會中の第三會=卷第四七九—同第五三七の五十九卷三十一品がそれである。初會の解説下を參照すべく、大正藏經、Vol.7, P.427—762.

(二)光讚經十卷(又は十五卷)二十一品(又は一十七品)——道安に從へば(合放光・光讚略解序卷四——出三藏記集七

〔大正55,P.48a〕、原本を于闐國の沙門・祇多羅Gitarmitaが晉の太康七年(283A.D.)長安に齋し、竺法護が同年十一月二十五日譯出する所である。畢承筆受。道安は又、その譯の、専ら天竺の語に準じ、敢て加飾せざりしきとをも言ひ添へてゐる。缺本なるを憾とすべく(後表参照)、大正藏經はVol.8.P.146—216b.前の第二會下の「附記」参照、光讚の名はその初品の同名なるより發す。

- (三)放光般若經二十卷九十品——出三藏記集(卷十三——大正55,P.97a)の記に依れば、昔、朱士行といふもの(正元元年=254A.D.出家)は大乘宣教を任として甘露五年(260A.D.)洛陽に下出の小品般若を講じた所、同經は抄撮にして意の通じ難い所が少くない。よつて誓を立てて于闐國に赴き、弟子・弗如檀(法饒)等十人に原本を齋らしめて歸り、晉の元康元年(291A.D.)五月十五日、同于闐國の沙門無叉羅優婆塞が該原本を執り、竺叔蘭口傳、祝太玄周玄明二人筆受、もつて同年十二月二十四日譯出といふのが即ちこの放光經である。後、太元二年(303A.D.)十一月十五日沙門竺叔蘭といふもの、叔蘭と共に寫本五部及び胡本により考校、書寫、かくて永安元年四月一日現行定本完く成る(出三藏記集七、放光記三——大正55,P.47c)。正書九十章、二十万七千六百二十一言と記せらる。
- 放光の名はまた初品の同名なるに由る所で、再び前掲第二會下の「附記」中参照。大正藏經はVol.8.P.1-146.
- (四)蕃本——Ses-rab-kyi Pha-rol-tu-phyin-pa khri-brgyad-Ston-pa.——上に準じ、北京版甘殊爾部に由てしくば函No.44(282+1 leaves);No.45(281);No.46(317);No.47(317)合計四函 1197+1 leaves,三十三品より成る。

三、品別對照——

(玄辨譯)

(光讚經) (放光經)

(蕃本)

一、緣起品

一一、光讚品

一、放光品

1.Glen-gshi (緣起_{西藏})

二、順空品

一二、無見品

2.Sems bSkyed-pa(發心_{西藏})

三、假號品

三、空行品

四、學五眼品

四、五神通品

3.Ng-par-brtag-pa (考察_{西藏})

五、妙度品

六、授決品

—4. Mi-mñam-pa-dñi mñam-pa(無等_{西藏})

七、舌相光(明)品

—5. Ljags-kyi-dBai-pa (舌根_{西藏})

八、分別空品

—6. Rab-hbyor (善現_{西藏})

九、行品

—7. Skyon-med-pa-la hTug-pa (入無過_{西藏})

十、了空品

—8. Kun-tu-rgyu bZo-shyains(普行作_{西藏})

十一、假號品

—9. mITshan-ma (相_{西藏})

十二、行品

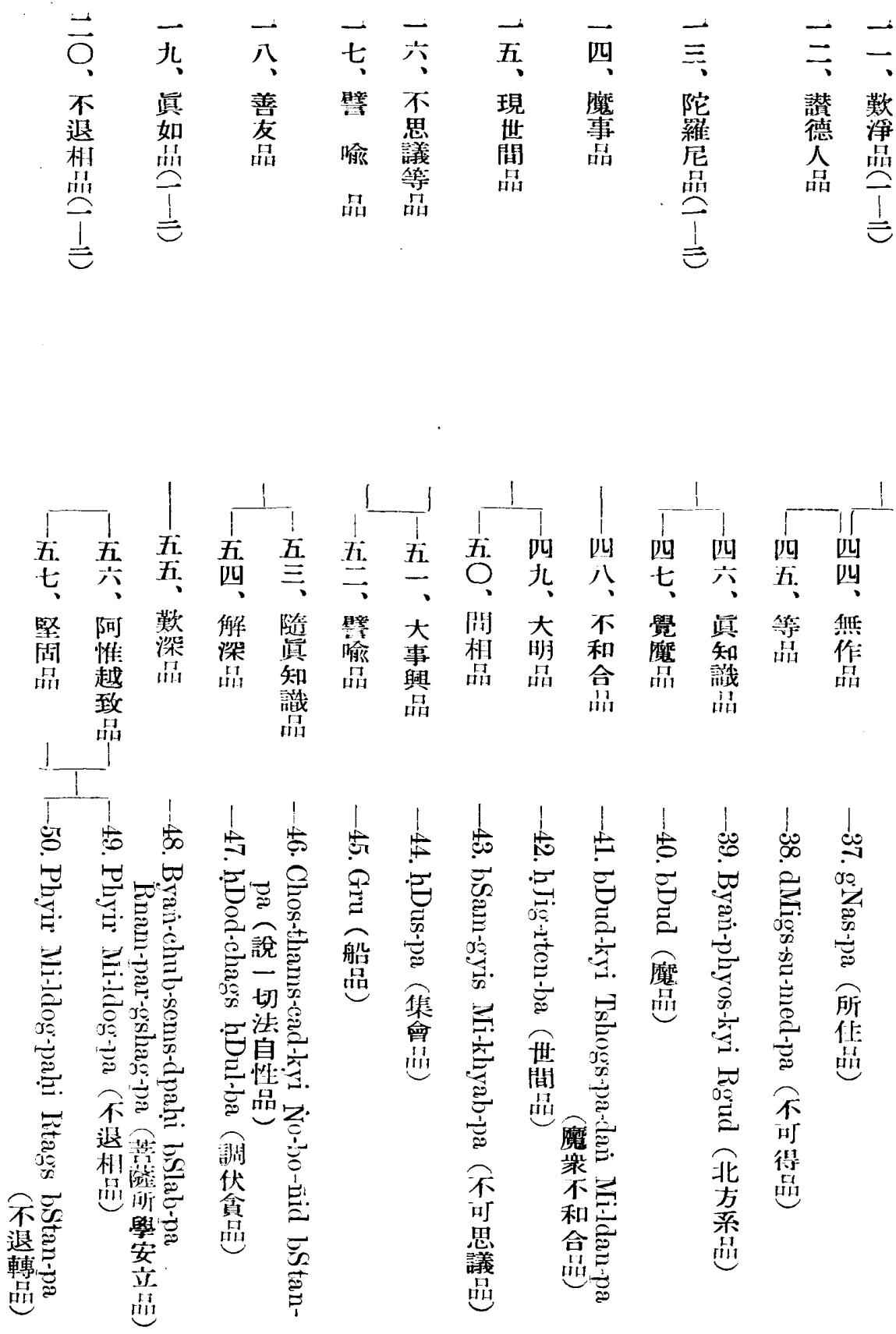
—10. Sgyu-ma lta-bu(如幻_{西藏})

一一、摩訶薩品	一四、了本品	-11. khrel-yod-pa (有慚品)
一二、等無等品	一五、摩訶薩品	-12. lta-ba Špan-ha (捨見品)
一三、大乘品	一六、問僧那品	-13. Pha-voltu Phrin-pa Drug (六度品)
一四、乘大乘品	一七、摩訶衍品	-
一五、無縛品	一八、僧那僧涅品	-14. Ma-beis inGroL-ba (無縛解品)
一六、三味品	一九、問摩訶衍品	-15. Tīn-ñe-hlsin (三昧品)
一七、觀品	一〇、陀隣尼品	-16. gZuis-kyi Šgor hJug-pa (入陀羅尼品)
一八、十住品	一一、治地品	-17. Sa Yonssu-hyai-ba Bya-ba (淨地所作 品)
一九、所因出衍品	一二、問出衍品	-18. Theg-pa-chen-pos Ñes-par-hyai-ba byStan-pa (依大乘出離品)
一〇、無去來品	一三、歎衍品	-
一一、衍與空等品	一四、衍與空等品	-19. Zil-gyis gNon-pa (勝王品)
一二、分曼陀尼弗品	一五、合聚品	-
一三、等三世品	一六、三際品	-
一四、觀行品	一七、問觀品	-20. gÑiss-su-med-pa (無上品)
一五、問品	一八、無住品	-21. gNas-brtan Rab-hbyor (長老善現品)
一九、問品	二〇、無住品	-22. bRgya-byiñ-gyi Lehü Dañ-po (帝釋品其一)

四、天帝品(1—11)	16. 法師如幻品	19. 如幻品	23. Rtoġs-par-dkaḥ-ba Shes-byā-la (難解品)
	17. 雨法雨品	20. 雨法雨品	24. mThaḥ-yas-ba (無邊品)
	18. 數品	21. 數品	25. bRgya-byin-syi Leḥu gNis-pa (帝釋品其1)
	19. 降衆生品	22. 降衆生品	26. Yoṅ-su-bzuñ-ba (攝受品)
五、現寧堵波品(1—3)	23. 守行品	27. mChod-rten (制底品)	
	24. 供養品	28. Byaḥ-chub-sen-skyi Yon-tuṇ	
	25. 持品	29. gSham Mu-steg-can (外道品)	
六、稱揚功德品(1—11)	30. hDsim-pa-daṇ Ri-mor-byed-paḥi Phan-yon (執持尊敬功德品)		
	31. Sku-gdūṇ (尸身品)		
	32. bSod-nams-syi Khyad-par (福勝品)		
七、佛設利羅品	33. Rjeś-su-yi-pan-po-daṇ Yoṅ-su-bsno-ba (隨喜及迴向品)		
八、福聚品(1—11)	34. hDod-chags hDul-ba (調伏貪品)		
九、隨喜迴向品(1—11)	35. Sem-s-can-dhuyal-ba (地獄品)		
10、地獄品(1—11)	36. Chos-thams-ead Ruam-bar-dag-parbStan-pa (一切法數淨品)		
		(缺下以)	

大部諸般若經品別對照表

三〇



一一一、空相品(1—三)	五八、甚深品	—51. Thabs-la mkhas-pa bStan-pa (<small>無分別方便品</small>)
一一一、毘伽天品	五九、夢中行品	—52. Pha-rol-tu phyin-pa Drug-gi Thabs Yons-su-rdogs-pa (<small>六度方便圓成品</small>)
	一六〇、恒加調品	—53. Gaṅ-gāḥi Lha-mo Lun-bstan-pa (<small>毘伽天女般若品</small>)
	一六一、間相行願品	—54. Thabs-la nikhas-pa bSgom-pa bStan-pa (<small>能方便品</small>)
一一一、巧便品(1—四)	六二、阿惟越致相品	—55. Rnam-par-rtog-pa Spañ-par bStan-pa (<small>說舍爾品</small>)
	六三、釋提桓因品	—56. bSlab-pa mNām-pa (所學平等品)
一一四、學時品	一六四、間等學品	—57. Spyod-pa (平等品)
	六五、親近品	—58. Rnam-par-mi-rtog-pa bStan-paḥi dPe bRjod-pa (<small>無分別品</small>)
	六六、牢固品	—59. Chags-pa-med-pa (無著品)
	六七、囉累品	—60. Yon-su-gtāṇ-pa (纏累品)
一一八、無盡品	—61. Mi-zad-pa (無盡品)	
六九、六度相攝品	—62. Thod-rgal-du Śūnya-par hīṇ-pa (<small>超等品</small>)	
七〇、溫潤品	—63. Chos-gñis-kyi Shu-ba-māṇ-bo (<small>法多融化品</small>)	
七一、種樹品	—64. Yan-dag-par-bstan-pa (出能品)	
七二、苦蘿行品	—65. bSten-pa-dāṇ bŚnen-bkur-hya-bahi thabs (親近依止恭敬苦蘿品)	

—七三、當得實知識品	—66. Thabs-la mkhas-pa bStan-pa (說方便 品)
—七四、教化衆生品	—69. Lam bSgom-pa bStan-pa (說觀道品)
—七五、無要堅品	—70. mThar-gyis Bya-hu-lai bSlab-pa-d- an bSgrub-pa bStan-pa (次第說所作 所學所成品)
—七六、無倚相品	—71. mTshan-na Med-pa-dai dMe-s-su Med-pahi Chos-nid (無相無緣法性品)
—七七、無有相品	—72. mTshan-nid Med-pa bStan-pa (無相空品)
—七八、住空品	—73. mTshan-dai dPe-byad bZan-po-dai yi-ge mNon-par sgrub-pa bStan-pa (說相相好文字現成品)
—七九、超越諸法相品	—74. Chos-thams-cad mNam-pa-nid-hu bStan- pa (一切法平等性品)
—八〇、信本際品	—75. Mi-hkhrugs-pa bStan-pa (不動品)
—八一、無行品	—76. Semis-can Yois-su-smi-par-byah Go-cha (成熟有情儀軌品)
—八二、建立品	—77. Sañ-regyas-kyi Shiñ Yois-su-dag-pa bStan-pa (趣淨佛國品)
—八三、畢竟品	—78. Sañ-regyas-kyi Shiñ Yois-su-lag-par-b ya-bali Thabs-la-mkhas-pa bStan-pa Shesbya-ha (清淨佛國方便品)
—八四、佛國品(1—2)	

一一一・宣化品(1—11)
(記不下以)

- 八四、分別品 —79. dNos-po Med-pahi No-bo-nid bStan-pa (無量生品)
八五、有無品 —80. Kun-nas Nōn-mois-pa-dai Rnam-par-byai-pa Med-pa (雜染及無清淨品)
八六、諸法等品 —81. Don-dam-pahi Rnal-hbyor (勝義喻他品)
八七、諸法妙化品 —82. Chos-nid hGyur-ba Med-pa bStan-pa (法性不變品)
—83. Byain-jhub-Sems-dpahi Slab-pa Rab-tu-dbye-ba (分別菩薩斷品)
—84. bSdud-pahi Tshigs-su-bead-pa (輯略偈品)
—八八、薩陀波渝品 —85. Rtag-tu-nu (無歸品)
—八九、法上品 —85. Chos-phags (法尚品)
—九〇、囑累品 —86. Yon-su-gtan-pa (囑累品)

五、第四會及び相應諸般若品別對照表

一、稱呼——(一)量の關係より一万頃般若とよび、(二)また恐らくは同様の關係にて小品般若とも稱し、(三)玄辨譯中には位置に從て第四會又は第四分般若と名け、(四)初品の名稱に準じて道行般若の稱あるもあり、般若の功德を稱揚すべく佛母出生云云とか佛母寶德藏とかいふも存する。

11、現存諸傳――

(一) 大般若波羅蜜多經中――同六百卷十六會の卷第五三八――同第五五五の十八卷二十九品をさす。大正藏經Vol.7, P.763—865. 他は初會の下參照。

(二) 道行般若經十卷三十品――或は摩訶般若波羅蜜經ともいふ。これが原本はもと竺佛朔が將來した所にして、自ら口授してもつて支婁迦讃と共に譯した。時に漢の光和二年(179A.D.)十月八日である。大正藏經Vol.8, P.425—478.

(三) 大明度無極經六卷三十經――又、單に明度經ともいふ。吳の支謙の227—257A.D.の頃譯せる所。大正藏經Vol.8, P.478b—508.

(四) 摩訶般若鈔經五卷十三品――現本は曇摩訥Dharmapriya(?)と佛護との譯で、苻秦の建元十八年(382A.D.)といふことなつてゐる。然るに近く境野黃洋(支那佛教史の研究P.29—30)鈴木宗忠(哲學雜誌No.548, P.57ff)等の諸教授はこれに異議を唱へられてゐるから、各參照すべし。大正藏經Vol.8, P.508—536.

(五) 小品般若波羅蜜經十卷二十九品――羅什法師の、秦の弘始十年(408A.D.)秦に傳來せる梵本に従つて譯したもので、その年の二月六日に稿を初めて、四月三十日校正等すべて終ると(僧叡の序參照)。大正藏經Vol.8, P.536—587.

附記――近時、鈴木宗忠教授は、この小品般若是今の第四會相應では無く、次の第五會相應とすべきである旨、異説を出せる。哲學雜誌No.548, P.48等を參照すべし。

(六) 佛母出生三法藏般若波羅蜜多經二十五卷三十二品——烏填曩Uḍyāna國の帝釋宮寺の沙門・施護が 980 A.D.○頃
(宋代) 譯出した所で、大正藏經 Vol. 8, P.587—676.

(七) 佛母寶德藏般若波羅蜜經三卷三十一品——一般に大部諸般若經は何れも散文だけの所成なのに對し、この一經だけは偈が大半で、中に僅に長行を雜めて成る。宋の法賢の譯(982—1001A.D.)で、原本は恐らく那蘭陀寺から齋らせる所であつたらう。大正藏經 Vol. 8, P.676—685.

(八) 蕡本——*Ses-rab-kyi Pha-rol-tu-phyiñ-pa khri-pa*(聖般若波羅蜜多一万頃大乘經)——三十三品より成り、北平版甘殊爾部のによると、國 No.46 の後半より No.47 の全に攝せらる。竺僧 Jīvanmitra; Prajñāvarma 及び西藏の大校修譯官 Ye-ses-sde-o の校閱、刊定、譯等であつたと(但し左表には略記)。

三、品別對照

(玄奘譯)	(道行經)	(大明度經)	(鈔經)	(小品)	(佛母出生)	(佛母寶德)
一、妙行品	一、道行品	一、行品	一、初品	一、行品	一、行品	一、行品
二、帝釋品	二、難問品	二、天帝釋問品	二、問品	二、釋帝桓因品	二、帝釋天王品	二、帝釋品
三、供養塗堵波品	三、功德品	三、持品	三、功德品	三、塔品	三、寶塔功德品	三、持無量功德
四、稱揚功德品	四、溫潤拘舍羅勸助品	五、變謀明慧品	四、功德品	四、明咒品	四、稱讚功德品	四、功德品

大部諸般若經品別對照表

三六

六、隨喜廻向品	七、隨喜廻向品	八、清淨品	九、讚歎品	一〇、總持品	一一、魔事品	一二、現世間品	一三、不可思議等品	一四、譬喻品	一五、讚歎品	一六、真如品	一七、不退相品	一八、空相品	一九、深功德品	二〇、殫伽天品	二一、恒竭優婆夷品	二二、恒竭清信女品	二三、恒河調優婆夷品	二四、恒河提婆品	二五、善巧方便品	二六、正福品	
六、隨喜廻向品	七、地獄品	八、清淨品	九、讚歎品	一〇、總持品	一一、魔事品	一二、現世間品	一三、不可思議等品	一四、譬喻品	一五、讚歎品	一六、真如品	一七、不退相品	一八、空相品	一九、深功德品	二〇、殫伽天品	二一、恒竭優婆夷品	二二、恒竭清信女品	二三、恒河調優婆夷品	二四、恒河提婆品	二五、善巧方便品	二六、正福品	
五、福門品	六、地獄品	七、泥犁品	八、清淨品	九、讚歎品	一〇、總持品	一一、魔事品	一二、現世間品	一三、不可思議等品	一四、譬喻品	一五、讚歎品	一六、真如品	一七、不退相品	一八、空相品	一九、深功德品	二〇、殫伽天品	二一、恒竭優婆夷品	二二、恒竭清信女品	二三、恒河調優婆夷品	二四、恒河提婆品	二五、善巧方便品	二六、正福品
五、泥犁品	六、地獄品	七、泥犁品	八、清淨品	九、讚歎品	一〇、總持品	一一、魔事品	一二、現世間品	一三、不可思議等品	一四、譬喻品	一五、讚歎品	一六、真如品	一七、不退相品	一八、空相品	一九、深功德品	二〇、殫伽天品	二一、恒竭優婆夷品	二二、恒竭清信女品	二三、恒河調優婆夷品	二四、恒河提婆品	二五、善巧方便品	二六、正福品
五、地獄品	六、地獄品	七、地獄品	八、清淨品	九、讚歎品	一〇、總持品	一一、魔事品	一二、現世間品	一三、不可思議等品	一四、譬喻品	一五、讚歎品	一六、真如品	一七、不退相品	一八、空相品	一九、深功德品	二〇、殫伽天品	二一、恒竭優婆夷品	二二、恒竭清信女品	二三、恒河調優婆夷品	二四、恒河提婆品	二五、善巧方便品	二六、正福品
五、地獄緣品	六、地獄品	七、地獄品	八、清淨品	九、讚歎品	一〇、總持品	一一、魔事品	一二、現世間品	一三、不可思議等品	一四、譬喻品	一五、讚歎品	一六、真如品	一七、不退相品	一八、空相品	一九、深功德品	二〇、殫伽天品	二一、恒竭優婆夷品	二二、恒竭清信女品	二三、恒河調優婆夷品	二四、恒河提婆品	二五、善巧方便品	二六、正福品
五、佐助品	六、佐助品	七、佐助品	八、泥犁品	九、讚歎品	一〇、讚持品	一一、覺邪品	一二、覺品	一三、覺邪品	一四、覺品	一五、覺邪品	一六、覺品	一七、覺邪品	一八、悉持品	一九、讚稱品	二〇、不可思議品	二一、讚持品	二二、顯示世間品	二三、顯示世間品	二四、讚持品	二五、稱讚功德品	二六、正福品
五、清淨品	六、清淨品	七、清淨品	八、泥犁品	九、讚稱品	一〇、讚持品	一一、惡者障法	一二、魔事品	一三、魔事品	一四、魔事品	一五、魔事品	一六、魔事品	一七、魔事品	一八、魔事品	一九、讚稱品	二〇、不可思議品	二一、讚持品	二二、顯示世間品	二三、顯示世間品	二四、讚持品	二五、稱讚功德品	二六、正福品
五、清淨品	六、清淨品	七、清淨品	八、清淨品	九、讚稱品	一〇、讚持品	一一、惡者障法	一二、魔事品	一三、魔事品	一四、魔事品	一五、魔事品	一六、魔事品	一七、魔事品	一八、魔事品	一九、讚稱品	二〇、不可思議品	二一、讚持品	二二、顯示世間品	二三、顯示世間品	二四、讚持品	二五、稱讚功德品	二六、正福品
五、地獄品	六、地獄品	七、地獄品	八、地獄緣品	九、讚稱品	一〇、讚持品	一一、惡者障法	一二、魔事品	一三、魔事品	一四、魔事品	一五、魔事品	一六、魔事品	一七、魔事品	一八、魔事品	一九、讚稱品	二〇、不可思議品	二一、讚持品	二二、顯示世間品	二三、顯示世間品	二四、讚持品	二五、稱讚功德品	二六、正福品
五、地獄緣品	六、地獄緣品	七、地獄緣品	八、地獄品	九、讚稱品	一〇、讚持品	一一、惡者障法	一二、魔事品	一三、魔事品	一四、魔事品	一五、魔事品	一六、魔事品	一七、魔事品	一八、魔事品	一九、讚稱品	二〇、不可思議品	二一、讚持品	二二、顯示世間品	二三、顯示世間品	二四、讚持品	二五、稱讚功德品	二六、正福品
五、正福品	六、正福品	七、正福品	八、正福品	九、正福品	一〇、正福品	一一、正福品	一二、正福品	一三、正福品	一四、正福品	一五、正福品	一六、正福品	一七、正福品	一八、正福品	一九、正福品	二〇、正福品	二一、正福品	二二、正福品	二三、正福品	二四、正福品	二五、正福品	二六、正福品

二一、覺魔事	二八、遠離品	一八、遠離品	一一、遠離品	一九、阿毘跋致	二二、辨魔事品	一二一、魔業品
二三、善友品	一九、善知識品	一九、善友品	一二、善知識品	二〇、深心	三三、善知識品	二三、善友品
二三、天主品	二〇、釋提桓因品	二〇、釋提桓因品	二一、求菩提品	二三、帝釋天主	二三、法王品	二三、法王品
二四、無雜無異品	二二、貢高品	二二、貢高品	二二、品	二四、增上慢品	二四、我品	二二、我品
二五、迅速品	二三、學品	二三、學品	二三、品	二五、幻喻品	二六、幻化品	二二、辨魔事品
二六、幻喻品	二四、守行品	二三、守行品	二三、品	二六、堅固義品	二七、妙義品	二二、魔業品
二七、堅固品	二四、強弱品	二四、強弱品	二四、品	二七、堅固義品	二七、妙義品	二二、魔業品
二八、散華品	二五、累教品	二五、累教品	二五、品	二八、散華品	二八、散華品	二二、魔業品
二九、隨順品	二六、不可盡品	二六、不盡品	二六、品	二九、緣品	二九、緣品	二二、魔業品
(缺下以)	二七、隨品	二七、隨品	二七、品	二九、隨知品	二九、隨知品	二二、魔業品
二八、薩陀波倫菩薩品	二八、普慈闡品	二八、普慈闡品	二八、品	二九、常啼菩薩品	二九、常歡喜品	二二、魔業品
二九、曇無竭菩薩品	二九、法來闡士品	二九、法來闡士品	二九、品	二九、常啼菩薩品	二九、常歡喜品	二二、魔業品
三〇、囑累品	三〇、囑累阿難品	三〇、囑累阿難品	三〇、品	三一、法上菩薩品	三一、出法品	二二、魔業品
				三二、囑累品	三二、善護品	二二、魔業品

六、第五會及び相應諸般若品別對照表

一、稱吸——^(一)量に因みて八千頌般若Aṣṭasāhasrikā-prajñā-pāramitāと稱し、^(二)玄辨譯に於ては準上の位置の點より第五會又は第五分般若と云ふ。

一一、現存諸本——

(一) 大般若波羅蜜多經中——同六百卷十六會中の卷第五五六——同第五六五の十卷二十四品のこと。大正藏經Vol.7, P.865—920. 他は初會下の文中参照。

(二) 楚本——Aṣṭasāhasrikā-prajñā-pāramitā——尼波爾承傳本により、1884年 Rājendralāla Mitra はこれを印行した(Caleutta 1884)。此波爾佛教にてはこれがその九聖教の一とす。三十二葉に分たる。Haribhadra 作の末疏 Aṣṭasāhasrikāya Prajñāparamitā vyākhyā を現に傳くる。

(三) 蕃本——Śes-rab-kyi Pha-rol-tu-phrin-pa bRgyad-ston-pa (聖八千頌般若波羅蜜多經)——その北京版のは甘殊爾部(番No.486) | 葉三十一葉 | が初め翻譯された。Sākyasena, Jñānasiddhi, Dharmatāśīla 等の學匠らが初め翻譯・校閱・刊行したものを、後更に數回印・蕃の諸師が刊定・改修・對校し、Magadha, Kaśmīr 所傳の諸本によつて是正しもつて現本を整くし。

附勒——前出第四會諸傳本中、(五) 小品の解説末に於る附記を參照すべし。

一一、品別對照——

(玄辨譯)

(梵)

本

(蕃)

本

一、善現品

1. Sarvakāruṇyatācaryā

1. Rnam-pa-thams-cad mKyenpa-ñid-kyi Spyod-pa
(般若一分粗行法)

11' 天帝品

2. Śakra.

2. bRgya-bgin (帝釋品)

111' 增堵波品

3. Aprameya suna dhāraṇa
pāramitāstūpasatkāra.

3. Pha-rol-tu-Phyin-pa-dai mChod-ten-la bKur-
stir-byed-pa gShal-tu Med-pahi Yon-tan hDsin-pa
(波羅蜜及到底恭敬無量功德執持品)

四、神咒品

4. Gunaparikīrtana.

4. Yon-tan Yoñ-su-brjod-pa (稱揚功德品)

五、設利羅品

5. Guanaparīyāya.

5. bSod-nams-kyi Rnam-graṇis (福德類品)

六、經典品

6. Anumodanā-parināmanā.

6. Rjos-su-yi-rai-ba-dai Yoñ-su-bsñ-o-ba
(鹽粹及回向品)

八、地獄品

7. Niraya.

7. dMyal-ha (地獄品)

九、清淨品

8. Viśuddhi.

8. Rnam-par-dag-pa (清淨品)

9. Stuti.

9. bStod-pa (讚歎品)

10、不思議品

10. Dhāraṇagunaparikīrtana.

10. hDsin-pahi Yoñ-su-brjod-pa (稱揚持功德品)

11' 魔事品

11. Mārakarma.

11. bDud-kyi Las (魔業品)

111' 真如品

12. Lokasandarśana.

12. hJig-rten Yai-dag-par-ston-pa (顯示世間品)

111' 莪深相品

13. Acintya.

13. dSam-gyis Mi-khyab-pa (不可思議品)

14' 船等喻品

14. Aupanya.

14. dPe (船等品)

15' 如來品

15. Deva.

15. Lha (天品)

16. Tathatā.

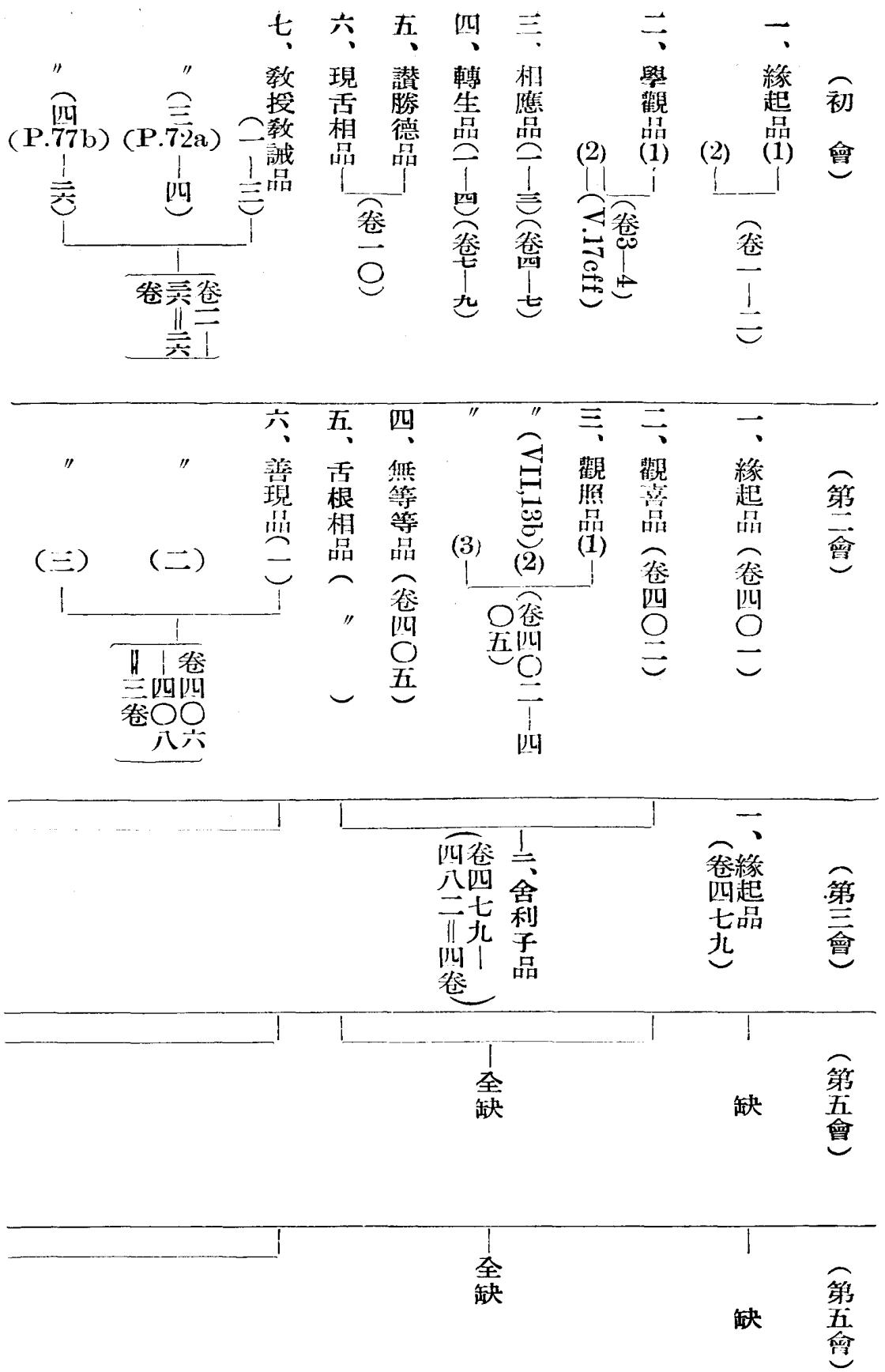
16. Da-bshin-ñid (真如品)

大部諸般梵經品別翻对照表

四〇

16. 不過品 17. Avinivartanīyākāralī-ganimitta.
 17. Phir Mi-dlog-pali Rnam-pa-dan
 Rtag-s-dan mTshan-ma (長頭頭品)
 18. Stoñ-pa ñid (妙莊經)
 19. Srin-mo Gañ-gāli Lha-mo (妙圓大娘品)
 20. Thabs-nkhas-pala Spyod-pa (善巧方便品)
 21. bDud-kyi-las (處業品)
110. 勝意樂品 22. Kalyāṇunitra.
 23. Śakra.
 24. Abhimāna.
111. 修學品 25. Śikṣā.
 26. Māyopama.
 27. Sīra.
1111. 根裁品 26. Sgyu-ma Lta-bu (燭上品)
 27. Sīno-po (燭匣品)
11111. 付囑品 28. Me-tog bKram-pa. (燭拂品)
 29. Rjes-su-rig-pa (燭拂品)
111111. 見不動佛品 30. Rtag-tu-Nu (燭燈品)
 31. Chios-hphags (燭燈品)
1111111. 以缺下 (缺下品)
 32. Parīndauā.

七、(附錄) 玄辨譯五會般若品別對照表



八、歡學品(卷三六)

七、入離生品(卷四〇八)

九、無住品(一—二)(卷三六—三七)

八、勝軍品(一—二)(卷四〇八)

一〇、行相品(一—四)

九、行相品(1)

" (四230c) — (卷八—四二)

(2) — (卷四九—四〇)

一一、譬喻品(一—四)(卷四一—五)

一〇、幻喻品(卷四一〇)

一二、菩薩品(一—二)(卷四五—
五卷)

一一、譬喻品
——(卷四一—二)

一三、摩訶薩品(1—
四六)

" (60a) — (卷四一—二)

" (一)
P.264b

一二、諸斷見品(卷四一—二)

一三、六到彼岸品 (1)

(2) — (四一—四二)

" (三)
P.267c

一四、乘大乘品(卷四一—二)

一四、大乘鑑品(一—三)(卷四九—
五二)

一五、無縛解品(卷四一—三)

一五、辨大乘品(一—一)

一六、三摩地品(1)—
(卷四一—四四)

一、妙行品(卷五三八—
二卷)
二、善現品(卷四八—
二九八二)
三、善現品(卷四八—
一七八七)

一、妙行品(卷五三八—
二卷)
二、善現品(卷五五六—
一)

一、善現品(卷五五六—
一)

"	"	一六、讚大乘品	"	"	"	"	"	"
(二 三 四 五 六)	(二 三 四 五 六)	P.322c P.321c P.312b P.309	(五 六)	(四 五)	P.305c	P.304a	P.300a	P.297b
(卷56—61=6卷)					(卷51—56=6卷)			
二二、無所有品	"	二〇、超勝品	"	一九、出住品	"	一八、修治地品	"	一七、念住品
(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)
(卷四七—四八)					(卷四五—四五)			

大部諸般若經品別對照表

四四

(一、善現品)
(二、妙行品)
(三、中)

" " " "
(卷420—423)

" (三
P.327c
四)
一七、隨順品(卷六一)
" (五
P.347a
六)
一八、無所得品(一)
" (四
P.361b
五)
一九、觀行品(一)
" (四
P.403c
五)
二〇、無生品(一)
" (一
P.419a
二)
二一、淨道品(一)
" (一
P.131b
二)
二二、淨道品(二)
" (二
P.130c
二)

" (一
P.347a
四)
" (卷61—70=10卷)

二三、隨順品(卷四一〇)
二三、無邊際品(1)

" (三
P.327c
四)
" (五
P.347a
六)
" (一
P.361b
二)
" (一
P.403c
二)
" (一
P.419a
二)
" (一
P.131b
二)

二三、天帝品(一)

二五、帝釋品(一)

" (四) (卷七十八)

" (二)

(卷四三五—四三六)

" (五) (卷七十九)

" (三)

二三、諸天子品(一)

" (三)

" (一) P.457b

二六、信受品

二四、受報品(一) (卷八三—八四)

" (一) P.140a

(卷四二六)

二五、散華品(卷八四中)

二七、散華品(一) P.141a

(卷四二七)

二六、學般若品(卷八五—八九)

" (一) P.142c

二七、求般若品(一) (卷八九)

" (一) P.144c

二八、數衆德品(一) (卷九—九)

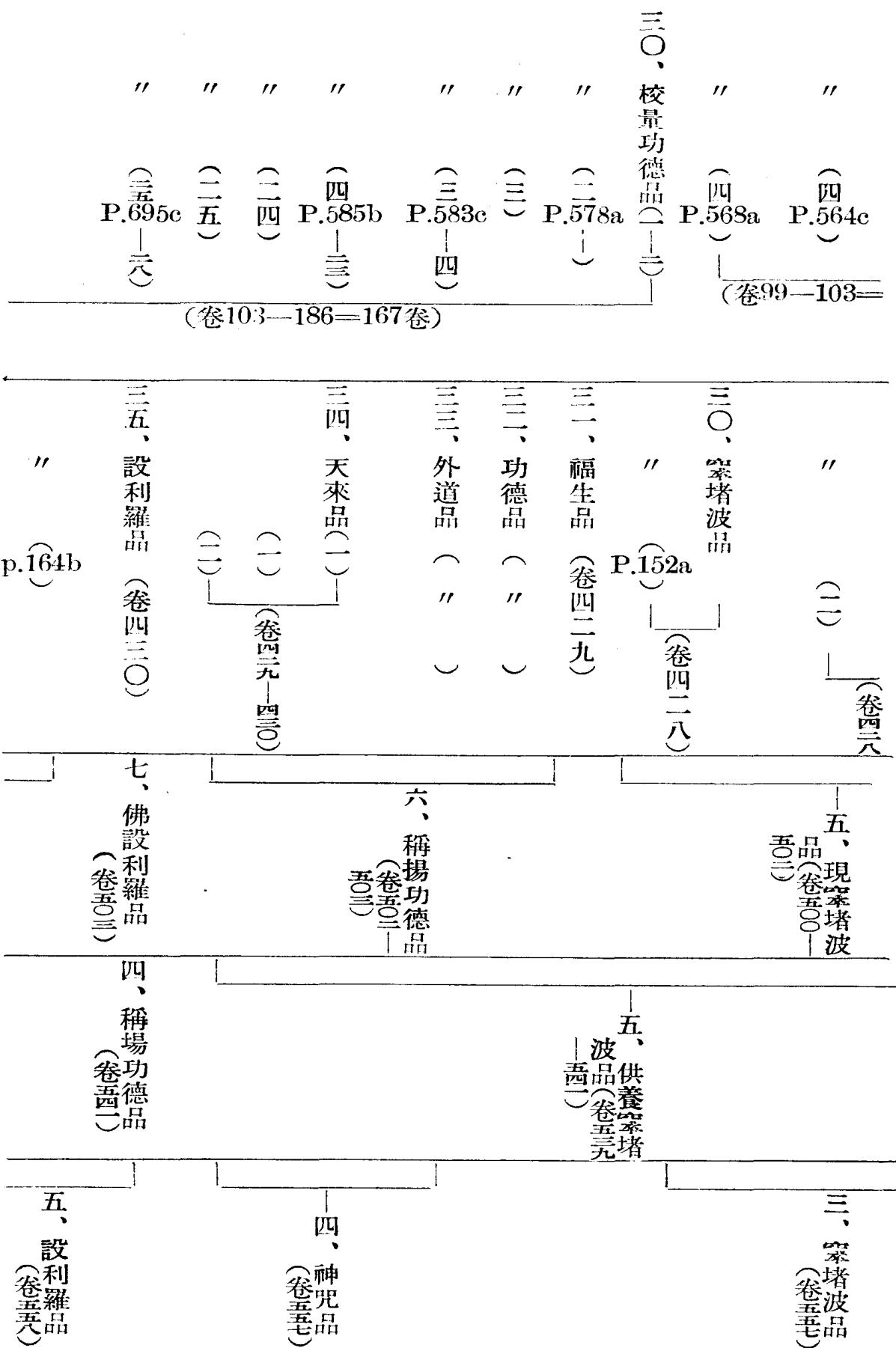
" (二) P.144c

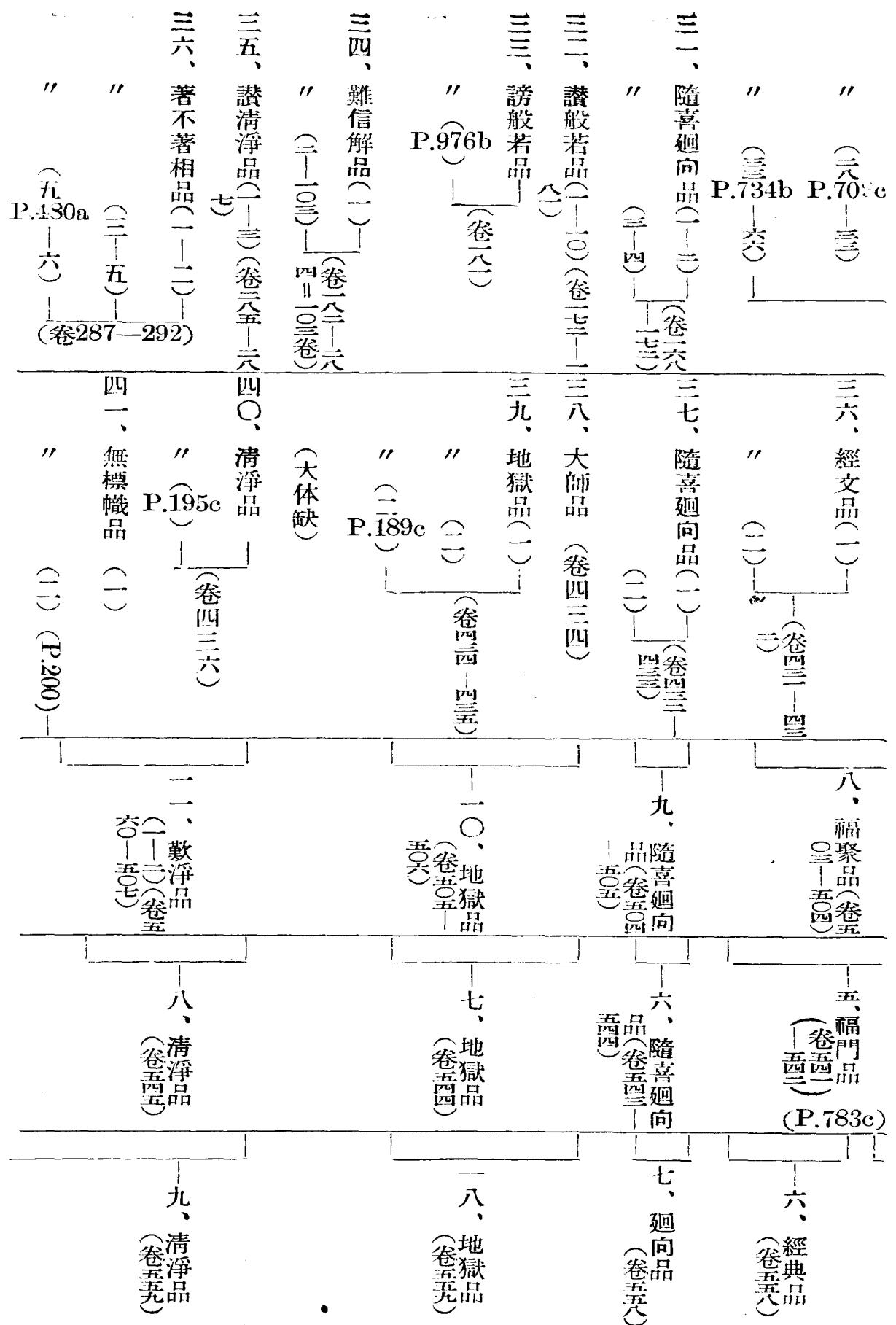
二九、攝受品(一) (卷九—九)

" (三) P.144c

" (三十四) (卷五)

二九、攝受品(一) (卷五)

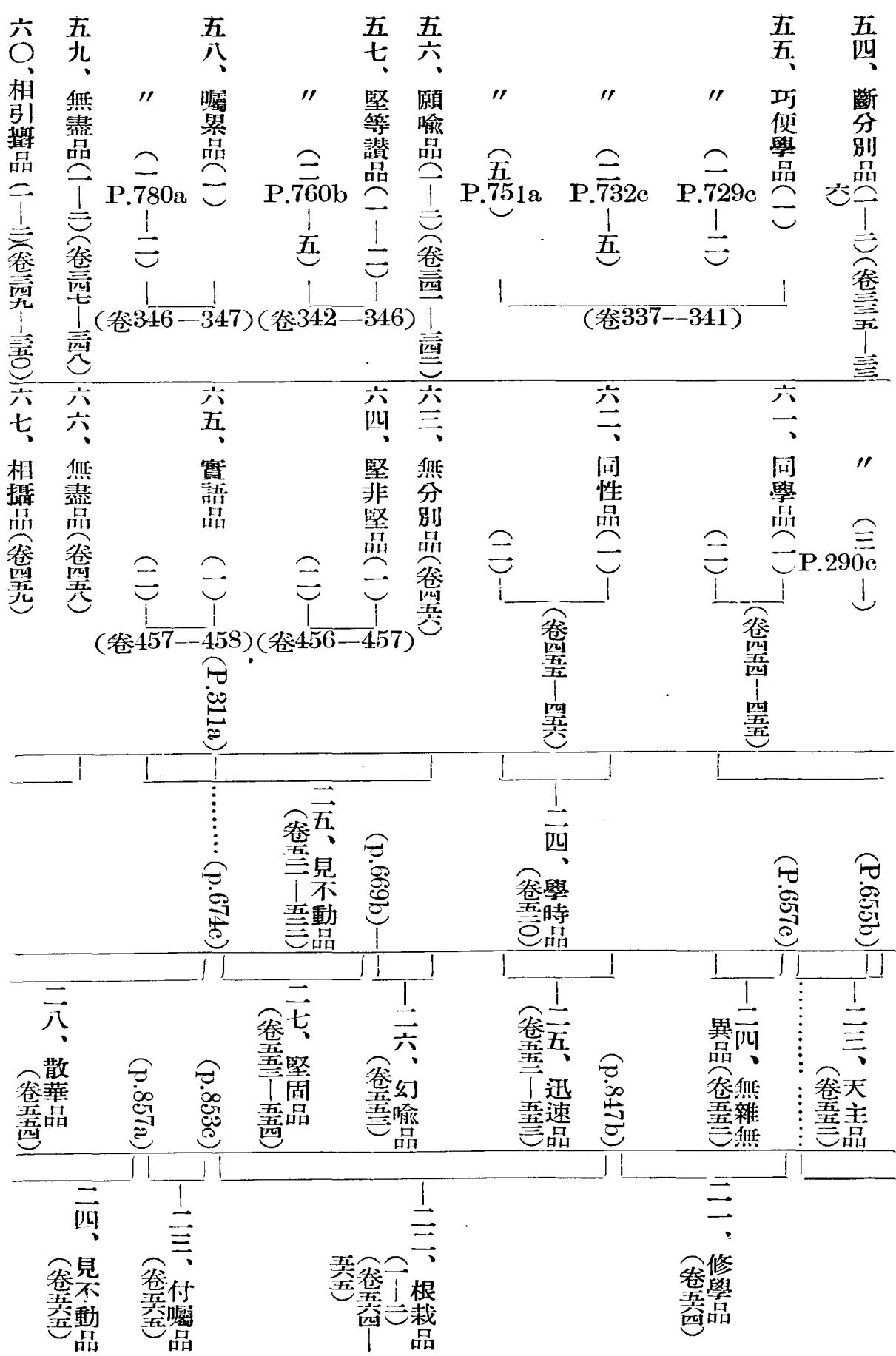




大部諸般若經品別對照表

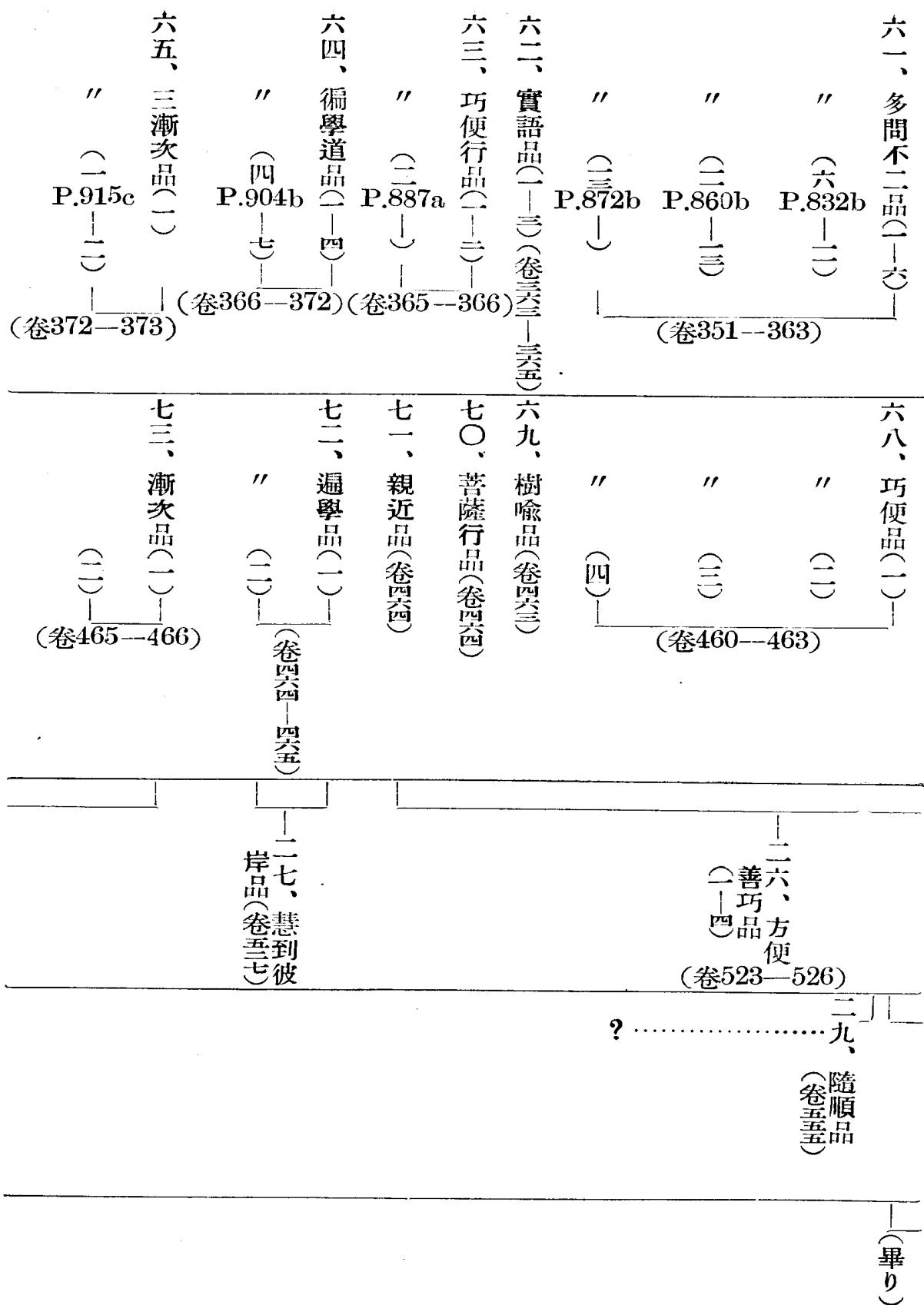
四八

三七、說般若相品 (1—5) (卷五—十五)	" (三) P.199a
三八、波羅蜜多品(一—三)(卷三至一 元七)	四二、不可得品(卷四至七)
三九、難聞功德品(一—五)	四三、東北方品(一)—
" " (五) P.531c	" (1) (卷438—440)
P.558c P.554b (卷305—308)	P.540b (卷297—302)
四〇、魔事品(一) (一) P.548a P.546b (卷303—304)	四四、魔事品(卷四) 四五、不和合品(一)— (卷四) 四六、佛母品(一) (一) (卷四—五)
四一、佛母品(一) (一) " " (一) (卷五—六)	一四、魔事品 (卷五至九)
四七、示相品(一) (一)	一一、魔事品 (卷五至九)
一五、現世間品 (一) (卷五—六)	一二、魔事品 (卷五至九)
一二、現世間品 (卷五至九)	一〇、總持品 (卷五至九) 一三、陀羅尼 品(一—三) (卷五至八)
" " (一) (卷五—六)	一〇、不思議 品(卷五至九)。
(VII.p.814a)	



大部諸般若經品別對照表

五一



六六、無相無得品(一—三)——

2 • (三—六)
P.938c

六七、無雜法義品(一)——

" (二—二)
P.954a

六八、諸功德相品(一)——

" (二—三)
P.961a

七六、衆德相品(一)——

" (二)

(卷379—383)

(卷378—379)

七五、無雜品(一)——

" (二—二)
P.954a

(卷373—378)

七四、無相品(一)——

" (二—二)
P.938c

(卷四六—四七)

七七、善達品(一)——

" (三—四)
P.968a

(卷468—471)

二二八、妙相品
(卷五三—五四)

二二九、施等品
(卷五三—五四)

大部諸般若經品別對照表

七〇、不可動品(一—三)	P.1002b	七八、實際品(一—)	" (二) — (卷386—390)
七一、成熟有情品(一—二)	P.1024	七九、無闕品(一—)	" (二) — (卷390—393)
" (二) — (四)	(卷390—393)	" (二) — (卷474—475)	" (二) — (卷473—474)
七二、嚴淨佛土品(一—三)(卷三五—三六)	P.1046a	八〇、道士品(卷四七)	七八、實際品(一—)
七三、淨土方便品(一—三)(卷三六—三七)	(卷395—396)	八一、正定品(卷四七)	" (二) — (卷473—474)
七四、無性自性品(一—一)		八二、佛法品(卷四七)	
" (二) — (二)		八三、無事品(卷四七)	
七五、勝義瑜伽品(一—三)(卷三七—三八)		八四、實說品(卷四七)	
七六、無動法性品(卷三九—四〇)		八六、實性品(卷四七)	
七七、常啼菩薩品(一—三)(卷三九—四〇)		三一、宣化品(卷五七—五八)	三〇、佛國土品(卷五五—五六)
七八、法涌菩薩品(一—三)(卷三九—四〇)		(畢)	
七九、結勸品(卷四〇)			

備考 右の中最後の表に於る頁數はすべて大正藏經のそれを意味する。

以上（昭和八・一〇・八日稿了）